



チャレンジする人が集うまち

埼玉県横瀬町

2024年11月5日
横瀬町長 富田能成

蘇金慕

横瀬町の概要



場所	埼玉県西部、秩父盆地の東端に位置 東京から70km圏内
面積	49.49km ² うち40.35km ² は森林
人口	7,669人（3,332世帯） （参考：役場職員93人）
産業	・ 武甲山から産出される石灰を扱う窯業 ・ 農林業（特に観光農園業） など

※2024/5/1 時点

寺坂棚田（9月お彼岸の頃）



A night scene of a frozen river, likely the Ashigakubo River. The river is covered in large, irregular blocks of ice. The surrounding area is covered in snow, and several trees are visible, some of which are illuminated with blue and purple lights. A wooden walkway or bridge is visible in the middle ground, and several bright, warm-colored lights are scattered throughout the scene, creating a magical atmosphere. The text is overlaid on a semi-transparent white box in the upper left corner.

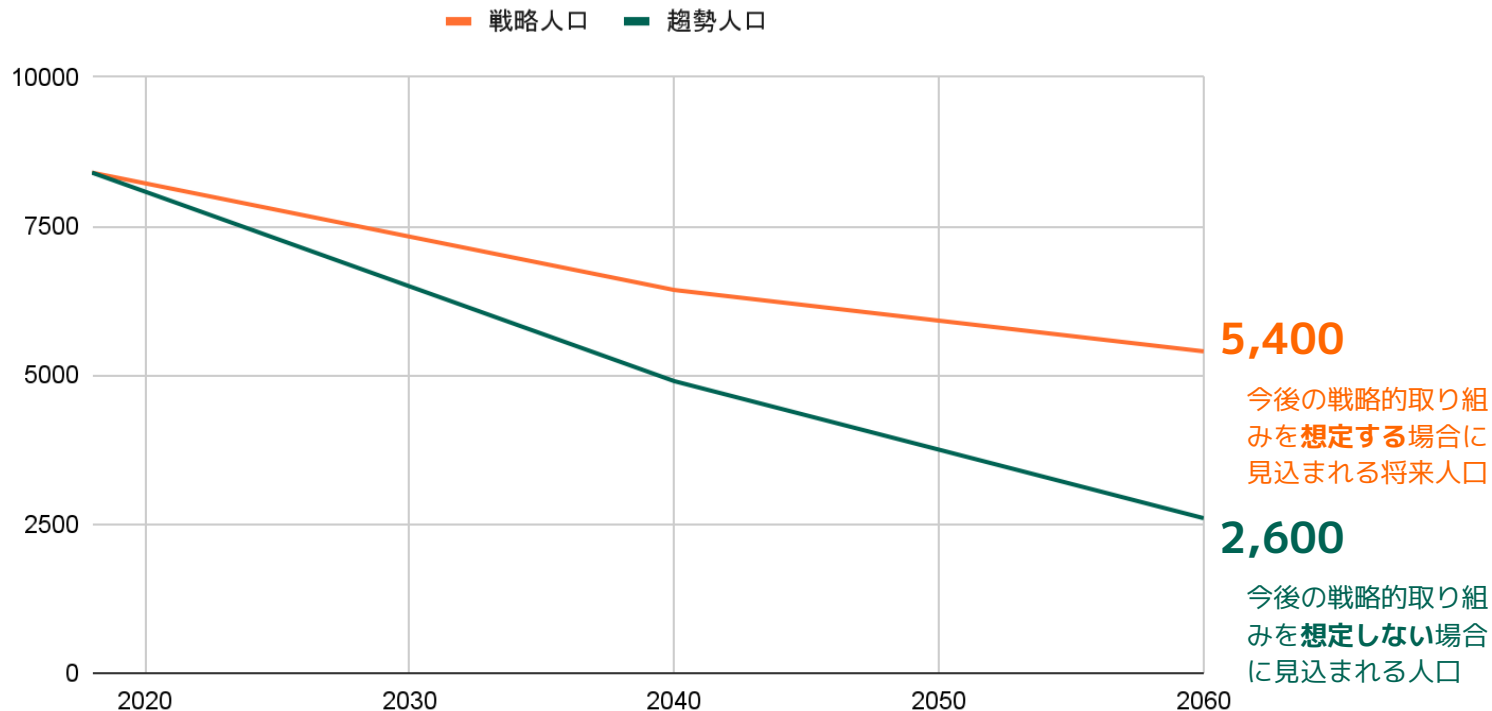
あしがくぼの氷柱
(観光客が一番少ない1-2月)

横瀬町の特徴

魅力的な自然豊かな里山風景と
歴史ある伝統・文化が息づくまち



横瀬町の大命題「人口減少を抑制する、人口減少に備える」



このままではいけない町
町の未来を変えるために
「チャレンジ」と「戦略・戦術」が
必要

横瀬町の特徴と強みは…

①小さい自治体



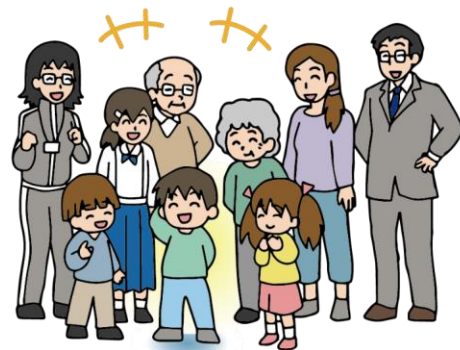
- ・ 決裁にかかるプロセスが少ない
- ・ 職員1人あたりの意思決定範囲が広い
⇒スピード感のある事業展開が可能

②都心からのアクセス



- ・ 東京から電車で最短73分で来町可能
- ・ かつ、都会とは異なる里山、自然を有する
⇒東京に拠点を持つ企業の参入のしやすさ

③強いコミュニティ



- ・ 住民と職員、住民同士の繋がりが強い
⇒事業協力、情報拡散がしやすい

町の未来を変えるためには

「今までどおり」
では未来は
変えられない



新たなチャレンジ
が必要

既存資源だけ
では未来は
変えられない



新たな資源やレバレッジ
既存資源の活用方法の発掘
が必要

**町の
強みを活かす**
(小さい/都市から近い/
自然豊か/コミュニティ)



戦術と柔軟性
が必要

外部からヒト・モノ・カネ・情報を継続流入させ、化学反応・活性化を促す

そして生まれたのが…



- 官民連携プラットフォーム -

「よこらぼ」とは

まちづくりの実践や実証試験などができる、
チャレンジのフィールド



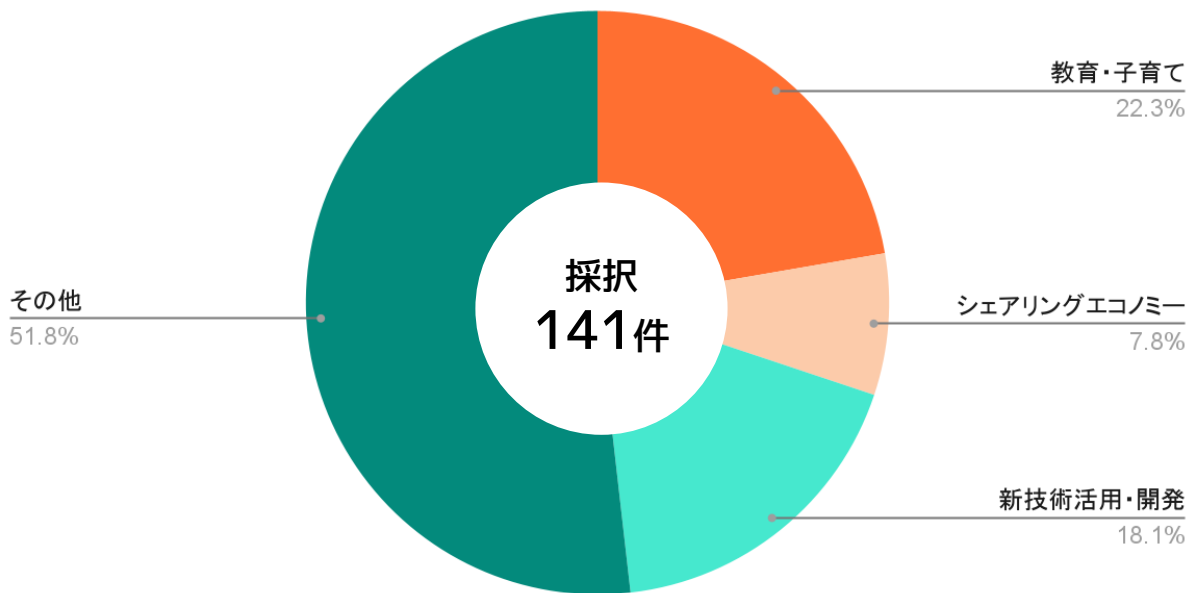
採択実績（2016/10～2023/10/24）

7年間で140件を超えるの採択実績

採択 **141** 件
1.6件/月

提案 **234** 件
2.7件/月

採択事業の分野



遠隔子育て相談「小児科オンライン」

ITを活用した地方の子育て・医療改善のチャレンジ。チャットや電話で気軽＆手軽に医師に相談できるシステム。



提案者のメリット

利用実態や利用者の声を集計・分析し、他自治体への展開に繋がられる。



横瀬町・町民のメリット

- 地方自治体で初のサービス提供。安全、安心な子育て環境の整備。
- 町内に1件も無い小児科医の補填。
- 市内、小児科医の診療時間外がメイン。
- 子育ての負担軽減により、子育て世帯の転入を促進、または転出を抑制する。

1 人	2 健康	3 安全安心	4 産業・雇用	5 賑わい・中心地	6 景観環境	7 人の輪
--------	---------	-----------	------------	--------------	-----------	----------

電動キックボードシェアリングサービス

「LUUP」はポート設置型の電動キックボードシェアリングサービスであり、観光客や住民の移動手段など、幅広いターゲットに利用してもらうことで町の活性化を図るプロジェクト。



1	2	3	4	5	6	7
人	健康	安全安心	産業・雇用	賑わい・中心地	景観環境	人の輪



提案者のメリット

道路交通法改正に向けて、利用者アンケート実証試験データを集積することができる。



横瀬町・町民のメリット

- 自治体や観光協会と協力する形で事業を進めているため、地元の活性化・交通渋滞の削減・観光客が多く観光地を巡れるようにするなどの課題を共に解決してもらえる。
- 交通インフラの新たな可能性が提示されることで、移動がより楽しく・より便利なものになることが期待される。

ユニバーサル野球で世界に楽しみを

障がいのある人、幅広い年齢層の人が楽しめる野球を地域の福祉や教育の場に活用。全国各地で「よこぜユニバーサル野球場」の体験会を開始。



1	2	3	4	5	6	7
人	健康	安全安心	産業・雇用	賑わい・中心地	景観環境	人の輪



提案者のメリット

地域のイベントなど、ユニバーサル野球をより多くの人に体験してもらい、全国への事業展開を図り、住みよい地域づくりに寄与する



横瀬町・町民のメリット

- 全国新聞、テレビ等でバックスクリーンに映る「よこぜ」の文字が広告になる。
- 誰もが楽しめる「ユニバーサルスポーツ」の普及は町の福祉向上に資する。

No14 横瀬そば会（団体）

どぶろく特区

遊休農地を利用して栽培した横瀬産米でどぶろくを製造・販売。



1	2	3	4	5	6	7
人	健康	安全安心	産業・雇用	賑わい・中心地	景観環境	人の輪



提案者のメリット

- 特区認定により、どぶろく醸造に挑戦ができる。
- どぶろく販売による収入増&地域経済活性化。



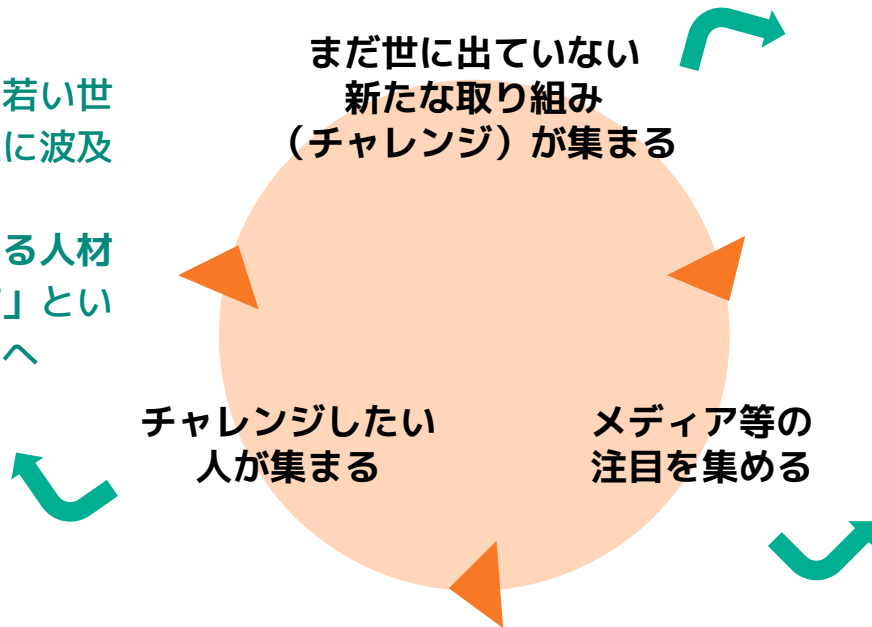
横瀬町・町民のメリット

- どぶろくを提供することによる町内滞在時間の増加。また、それに伴う消費の増加。
- 耕作放棄地の解消。
- 埼玉県内初のどぶろく特区として、取り上げられたことによる町の認知度の向上。

「よこらぼ」から生まれたもの

チャレンジがチャレンジを呼ぶ好循環

- 関係人口拡大、若い世代の移住、起業に波及
- 「チャレンジする人材が集う小さな町」というブランド確立へ



- 都市部からヒト・モノ・カネ・情報が低コストで継続的に流入
- 実証実験実施により多様な分野で先行者メリット享受

新聞掲載 282件

雑誌・Web
メディア掲載 291件

TV
(NHK/フジ/
テレ東ほか) 24件

外部講演・
視察受入 194件

**町に多様な人材
(チャレンジする人・
チャレンジを応援する人)
が集まるように**

No53 株式会社カリラボ

横瀬獣害対策振興プロジェクト

巻き狩りに参加したい猟師と地元猟師を結び付けるサービス。共同でわなを利用するサービス「ワナシェア」、猟友会への説明や起業に向けて遊休施設の提供も展開。
2022年11月、解体施設が稼働開始。



1	2	3	4	5	6	7
人	健康	安全安心	産業・雇用	賑わい・中心地	景観環境	人の輪



提案者のメリット

- 地元猟友会員の紹介と事業連携



横瀬町・町民のメリット

- 横瀬町でも大きな問題となっている有害鳥獣対策の強化。
- 後継者不足が懸念される狩猟の後継者の確保。

1	2	3	4	5	6	7
人	健康	安全安心	産業・雇用	賑わい・中心地	景観環境	人の輪

関係人口創出プロジェクト

関係人口の居場所づくり。
地域の人も地域外の人にも気軽に集まれるスペース・オープン&フレンドリースペース「エリア898」を2019年4月より運用。



提案者のメリット

- 居場所づくり。地域活性イベントの開催など、賑わう場づくり。



横瀬町・町民のメリット

- 気軽に立ち寄れるスペースの創出。
- 多世代間の交流促進。
- 町民と関係人口、交流人口との交流促進。
- 「よこらぼ」事業の拠点づくり。

関係人口創出プロジェクト

プロジェクト経過の様子

1	2	3	4	5	6	7
人	健康	安全安心	産業・雇用	賑わい・中心地	景観環境	人の輪



JA跡地を
地域住民の手で改修
(ボランティア)



老若男女が集う場に

1 人	2 健康	3 安全安心	4 産業・雇用	5 賑わい・中心地	6 景観環境	7 人の輪
--------	---------	-----------	------------	--------------	-----------	----------

不登校生徒に向けた好奇心の種まき

子ども第三の居場所づくり。子どもたちが好きなことを発見し、やり尽くす体験を通じて、自己肯定感・自己受容感を向上させ、他者との比較から解放された幸福の自分軸を確立するきっかけ作りを提供する。



提案者のメリット

- 横瀬小学校・中学校への周知や教育委員会及び学校側との連携が可能となる。
- 事業実施場所の確保



横瀬町・町民のメリット

- 学校に適応できず不登校となっている児童生徒が、各々最適な学習機会を得ることができる。

地域資源を活用したクリエイティブな モノづくり拠点「TATE Lab.」

1
人

2
健康

3
安全安心

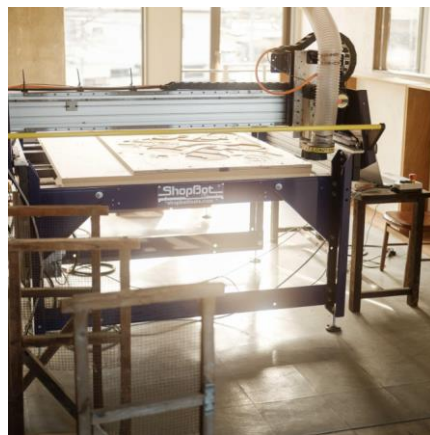
4
産業・雇用

5
賑わい・中心地

6
景観環境

7
人の輪

都内のデザイン企業の新たな事業
の場所として進出を支援
ものづくりを通じたクリエイティブ
セラピーを取り入れた自分深掘り
プロジェクトとして自分自身や地域
に深く潜り込んでいく取組



最先端の木材加工機材である
ShopBotを導入

横瀬町出身の若手家具職人が在駐し
時代にマッチしたコンセプトモデル
家具など秩父産木材を活かした家具
の創作やワークショップを実施

企業誘致

ふるさと
納税

地域
×
クリエイ
ティブ

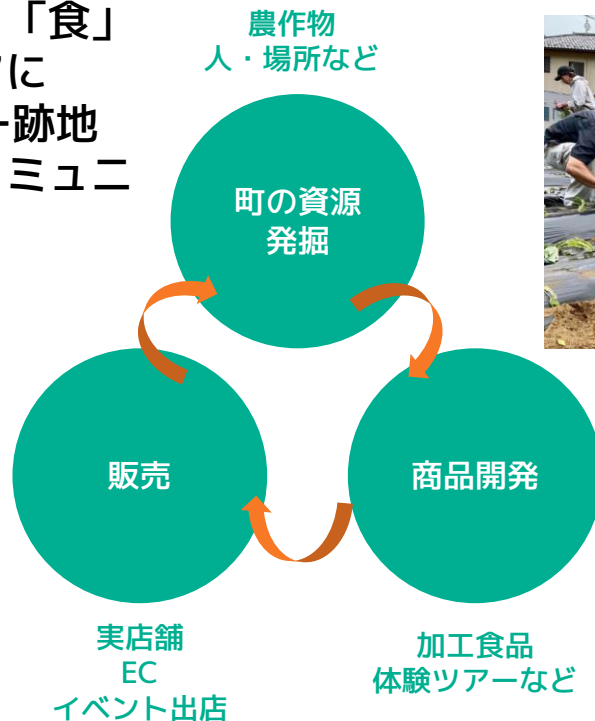
一次産業
(林業)
活性化

1. 地域おこし協力隊（含むインターン）
2. 地域活性化起業人
3. 集落支援員
4. JICA人材（海外協力隊研修生）
等々

1	2	3	4	5	6	7
人	健康	安全安心	産業・雇用	賑わい・中心地	景観環境	人の輪

人と人を繋げ、地域に経済循環を生み出す 株式会社「ENgaWA」の設立

第一弾として地域の「農」と「食」
を再構築をすることをテーマに
2021年9月、旧給食センター跡地
にシェアキッチンを備えたコミュニ
ティカフェを開設。



コミュニティの力で町の中心に賑わいを

1	2	3	4	5	6	7
人	健康	安全安心	産業・雇用	賑わい・中心地	景観環境	人の輪

食×教育



Challenge Kitchen
ENgaWA
<コミュニティカフェ>



NAZELAB
<教育機関>

子ども
×
大人

ENgaWA
駅前食堂
横瀬駅

●町役場

Lab Yokoze/
Area898/899
<コワーキング/
コミュニティスペース>
TATE Lab.
<クリエイティブ拠点>

ウォーターパーク
シラヤマ

横瀬川

●民俗資料館

●町民会館/図書館

町内
×
町外

民間
×
行政



日々、色んな化学反応が起きている！

オープン＆
フレンドリー
エリア898
エリア899

コミュニティ
スペース

よこらぼ



徒歩1分
圏内

地域商社



Lab横瀬

宿泊付コワー
キングスパー
ス

NAZELAB

子ども第三の
居場所



よこらぼ



地域商社

Challenge Kitchen
ENgaWA

食と農を開拓
する、開発拠点
兼コミュニティ
カフェ

官民連携でウェルビーイングなまちづくり推進

●2022年11月26日

『みんなでつくる日本一幸せな町横瀬協議会』

設立

(通称：しあつく)

企業版ふるさと納税を活用して活動

●2023年3月

ウェルビーイング担当

地域おこし協力隊着任

住民との対話機会創出、
プロジェクト支援など
カラフルタウン（多様な幸せが花開く町）
を標榜する横瀬町に欠かせぬ存在に



総務省「令和4年度ふるさとづくり大賞」優秀賞を受賞



Tips;ふるさとづくり大賞

総務省が実施する、全国各地でそれぞれの「ふるさと」をよりよくしようとする団体、個人を表彰する制度。令和4年度においては、全都道府県から推薦のあった候補の中から25団体と4人が受賞



評価されたポイント

- 日本一チャレンジする町、日本一チャレンジを応援する町というブランディングとビジョンを評価。地方=実証実験地とすることにより、地方が先進地化、地方性を価値化している。
- 小さな町だからこそできる地域住民を中心とした地域づくり。行政がスピード感をもってサポートし、民間が主体となることで継続的な取り組みとなる。
- 町の規模にしては、発展性が幅広く、創造力豊富な取り組みである。町のさまざまな面の活性化につながる。

今後、新たな事業が増えてくるのが**楽しみ**である

人材活用に関して
横瀬町が大切にしていること

チャレンジすること

チャレンジを応援すること

オープン＆フレンドリー

他者に寛容であること

楽しい町・仲間がいる町

余白（関わりしろ）がある町

お役所仕事を超えてゆこう

**この町の未来を変える。
変えられるのは私たちだけ。**

未来はつくるもの

